

一 栄 谷 篤 一 の 異 見 私 見



が行われてきたTPP
を隠れ蓑にして 日米
二国間協議で「聖域」が
なし崩しにされてきた
ということでもある。

米については、13年
目にアメリカの方トン
／年、オーストラリア
8400トン／年とす
る輸入枠が設けられる
ことになった。これに
加えて既存の輸入枠内
でアメリカ産米を優遇

TPPの大筋合意が
はかられたが、果たし
てアメリカ議会が承認
が得られるのかどうか
が次の注目点となって
いる。すでに本格的な
次期大統領選の火ぶた
は切られており、民主
党の有力候補であるヒ
ラリー・クリントンは
「今の時点ではTPP
に反対」の姿勢を打ち
出すなど、状況は予断
を許さない。全参加国
が2年以内に議会承認
などの国内手続きを終
えられない場合は、
GDPの合計が85%以
上を占める6か国以上
が合意すれば発効する
ことになっているが、
逆にアメリカ議会の
承認なくしてTPPは
発効しない。

ところで、

TPP交渉と併行して
二国間協議がすすめら
れてきたが、二国間
の合意がTPP大筋合
意の前提になっている
ことへの留意が必要で
ある。TPPが発効し
なくても二国間協議
の合意事項は効力を発揮
する仕組みとされてお
り、すでに日米間では
すべての分野での交換
文書をまとめていると
も伝えられている。T
PP交渉以上に、日米
二国間協議が大きな意
味を持つていたわけ
であるが、秘密裏に交渉

協 同 組 合 間 提 携 ・ 産 消 提 携 に 全 力 投 球 の 時

して、中粒種・加工用
の枠6万トンが新設さ
れる。その影響はどうか。
1993年のカット・ウルグアイ・ラウ
ンド合意によって設け
られた7万トンの輸入
枠と比較すれば1割程
度の増加にとどまり、
またこれを踏まえて政
府は強い農業への転換
を旨指すとともに、早
速に備蓄米の買入れ量
拡大策の検討を表明す
るなどにより、影響は
限定的だとする見方も
多い。しかしながら仮
に増加した輸入相当

量の国産米を輸入して
備蓄したとしても、輸
入は業務用中心に市
中に出回ることになり
価格引下げ圧力をあた
らすことは必至であ
る。何れも人口減少
がすすむとともい、3
年後には米生産調整が
廃止される公算が大で
あり、すこぶる悪い環
境の中での合意が農家
の継続意欲を大きく削
ぐことが懸念される。
15年産米の価格は若
干持ち直してはいると
いえ、米価は下落傾向
をたどり、14年産米の
平均価格は過去最低の
12千円／60kgといわれ
ている。組織法人経営
の生産コスト(全参入
生産費)とはほぼ同額で
あり、現在でも家族経
営による中小規模農家
は赤字を奈饑なくされ
ており、さらなる価格
低下に対応していくこ
とは困難であるといえ
る。だからといって規
模拡大しての生産コス
トの引下げを強引に誘
導していくことは、中
小規模農家のリタイア
を促すばかりであり、
地方創生に逆行するこ
とになりかねない。

多様な担い手が一体
となって地域農業振興
をはかっていくと同時
に生産者はご飯二膳
が20日前後にすきす米
は高くないと受けと
め、ご飯二膳と35匹の
オタマシヤクシを甲ん
ぼと煮ることを大事
に思う消費者・市民と
しかりつながってい
くことが不可欠であ
る。今こそ協同組合間
提携、産消提携に全力
投球していくことが求
められている。
(農的会学サイエンス研
究所代表)